

株式会社プライドライナー サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025 年 9 月 1 日

株式会社北洋銀行
清水支店

1. 基本情報

企 業 名	株式会社プライドライナー		
代 表 者 名	樋口 和人		
所 在 地	<ul style="list-style-type: none">本社 北海道上川郡清水町南 1 条西 4 丁目 17-1札幌営業所 北海道札幌市白石区中央 1 条 3 丁目 1-33 石野ビル 2 階苫小牧営業所 北海道苫小牧市末広町 3 丁目 6-15 大東末広ビル 2 階南		
資 本 金	650 万円		
従 業 員	31 名 (2025 年 3 月現在)		
業 種	一般貨物運送業		
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none">冷凍・冷蔵食品運送一般雑貨等運送生乳運送		
沿 革	1989 年 9 月 2003 年 4 月 2014 年 9 月 2020 年 8 月 2023 年 1 月 2023 年 4 月	個人事業主として創業 有限会社プライドライナー設立(資本金 650 万円) 札幌市白石区に営業所開設 グループ会社として大国開発運送株式会社を統合 苫小牧市に営業所開設 株式会社プライドライナーへ商号変更 現在に至る。	

■保有車両

	本社	札幌営業所	苫小牧営業所
トラクター	7台	3台	6台
11t ウイングバン		4台	
8t ウイングバン		2台	
4t ウイングバン		2台	
4t 冷凍冷蔵		1台	
1t 車		3台	
冷凍セミトレーラー	14台		6台
ウイングセミトレーラー	1台	1台	
計	22台	16台	12台



出所: プライドライナー 提供資料

2. 経営・事業に対する価値観

当社では、明文化した経営理念やビジョン等は定めてはいない。しかし、経営や事業に対する価値観は社内に深く浸透している。

経営・事業に対する価値観

—『感謝と敬意』—

『“感謝と謙虚”の姿勢を忘れず、支えてくれる全ての方へ“敬意”をもって行動する。』
それは株式会社プライドライナーが事業を進める上で揺るがぬ信条である。
人と人との繋がりがあからこそ事業を続けられる。
「やってもらうことは当たり前ではない」という原点を胸に刻み、常にその本質を見失うことなく、謙虚に、誠実に歩み続ける。

上記がプライドライナーの経営と事業に対する想いであり、当社の経営・事業の底流に存在する。

社名に込められた、自らの仕事に対する『誇り』(プライド)と『責任』の精神を大切にしながら、十勝と日本全国を繋ぐ、地域に根差した物流インフラとして社会への貢献を果たしている。



出所：プライドライナー 提供資料

3. 事業概要

プライドライナーは北海道清水町に本社を置く運送会社である。清水町のほか、札幌市・苫小牧市の営業拠点に加え、芽室町にはグループ会社の大国開発運送を置く。冷凍・冷蔵食品の運送を主軸としながら、日用品等の一般雑貨まで幅広い物流ニーズに対応したサービスを提供している。

現在、運送業界には、慢性的な人手不足や働き方改革関連法によるトラックドライバーの労働環境の改善、さらには環境対応の強化といった様々なテーマが存在する。

当社はそうしたテーマに真正面から取り組み、十勝から全道、そして日本全国を繋ぐ『持続可能な物流体制の構築』を進めていく。

【本社運送車両】



【本社事務所】



出所：プライドライナー 提供資料

■ 冷凍・冷蔵食品運送事業

肉や乳製品等を始めとする、冷凍・冷蔵食品の輸送は、当社の中核事業の一つである。

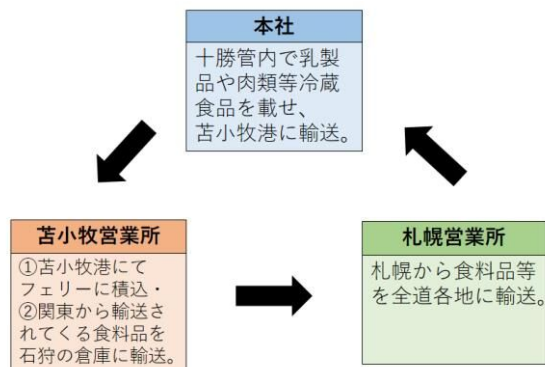
当社は十勝管内で集荷した肉類や乳製品等の貨物を苫小牧港まで輸送し、苫小牧港でこれらの貨物を積み替え、フェリーで北海道外へ送り出すと同時に、関東圏からの貨物を札幌圏はじめ全道に輸送している。札幌ではさらに貨物の積み替えを行い、十勝への食料品を輸送する体制を整えている。この一連のサイクルを効率的に回すため本社のほか、札幌市と苫小牧市に営業拠点を構え、北海道内の広域物流ネットワークを確立することで、効率的な運送体制を実現している。これにより積載効率の最大化が図られ、環境負荷の軽減と経済効率性を両立し、持続可能な運送体制の確立にも貢献している。

当社が運ぶ食品は、道内外多くの方々の食卓を支えている。その重みを深く受け止め、仕事に対する『誇り』と『責任』を胸に、地域の食インフラを支える重要な物流機能として、今後も「安心・安全」を第一に考えた物流サービスを提供する。

【食料品等を運送する冷凍車】



出所：プライドライナー 提供資料



■一般雑貨等運送事業

第二の事業の柱として位置付ける一般雑貨等運送事業では、主に日用雑貨や紙製品（段ボール等）をはじめとする一般雑貨等の輸送を行う。

プライドライナーは道南エリアを中心に、グループ会社である大国開発運送は道東エリアを中心に輸送を展開し、両社で北海道全域をカバーしている。

【札幌営業所の運送車両】



【グループ会社である大国開発運送の運送車両】



出所：プライドライナー 提供資料

4. 社内評価制度

運送業では労働環境の改善と安心安全の物流サービスの両立が必要である。当社ではこの両立のために社内制度として以下を定めている。

■安全運転評価制度

当社では、デジタルタコグラフ¹に残る、急発進・急ブレーキ・速度超過・アイドリング時間等、運転データをもとに、安全運転評価を実施している。これらの指標に基づいて、違反回数等を点数化し、点数に応じて安全運転手当を支給する制度を導入している。急発進や急ブレーキの抑制は、車輛事故を未然に防ぐだけでなく、故障リスクや修繕コストの軽減に繋がり、会社にとっても大きなメリットがある。同時に、ドライバー自身にとっても安全運転の意識向上と手当の獲得という双方にメリットのある仕組みとなっている。

さらには「AI 点呼」を活用し体温・血圧・アルコールチェックを徹底している。札幌や苫小牧の営業所とリモート連携可能であり、安心・安全な物流サービスの提供を揺るぎなく確保している。

その他、車中泊となる際には、「車中泊手当」を支給する等、ドライバー経験のある社長だからこそ実現できる現場目線のサポート制度を整えている。

【AI 点呼に用いる各種機器】



運行前後にアルコールチェック、体温、血圧等の検査を実施する。
ドライバーの健康管理の徹底、点呼業務の効率化、そして運行管理者の労務改善も実現すべく、業界に先駆けて AI 点呼を導入。

出所：プライドライナー 提供資料

¹ デジタルタコグラフ…車両の運行情報をデジタルデータとして、記録・管理する機器

5. サステナビリティ目標

株式会社プライドライナーの更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、株式会社プライドライナーの事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、株式会社プライドライナーのプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガスの可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	ワークライフバランスの充実
目 標 ・ K P I	正社員の年間労働時間を 1,923 時間以下にする。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。